



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場会社名 上村工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4966 URL <http://www.uyemura.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上村 寛也  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 片山 恵嗣 TEL 06 (6202) 8518  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	35,988	13.5	6,422	24.4	6,568	26.3	4,396	11.4
29年3月期第3四半期	31,696	△12.0	5,162	8.6	5,201	10.0	3,947	25.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 4,939百万円 (-%) 29年3月期第3四半期 △319百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	488.35	—
29年3月期第3四半期	435.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	71,929	56,826	79.0	6,312.58
29年3月期	69,703	53,636	76.4	5,912.84

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 56,825百万円 29年3月期 53,228百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	140.00	140.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				150.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（平成30年2月9日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,890	9.1	7,910	39.5	8,140	42.3	5,050	△4.6	560.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	9,878,040株	29年3月期	9,878,040株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	876,036株	29年3月期	875,785株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	9,002,108株	29年3月期3Q	9,067,608株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、海外における地政学的リスクの高まり等が懸念されたものの、堅調な米国経済をはじめ、世界経済に緩やかな成長の動きが見られたこともあり、雇用情勢や所得環境の改善が継続し、景気は回復基調で推移しました。

当社グループの主要市場であるエレクトロニクス市場におきましては、自動車の安全性や利便性の向上による電装品の搭載数増加やスマートフォンの高機能化による1台当たりの部品数増加などに伴い、電子部品需要が拡大しました。

このような状況の下、当社グループは、収益力の更なる向上を目指して、高付加価値製品の開発と提案並びに拡販活動に注力するとともに、生産性向上の取り組みを強化してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は359億88百万円（前年同四半期比13.5%増）、営業利益は64億22百万円（同24.4%増）、経常利益は65億68百万円（同26.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は43億96百万円（同11.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 表面処理用資材事業

主力のプリント基板用及びパッケージ基板用めっき薬品の売上高は、スマートフォンやカーエレクトロニクス製品に搭載される電子部品の需要が拡大したことにより増加しました。

また、自動車のパワーデバイスや潤滑性が求められる車載製品向けのめっき薬品の販売も引き続き堅調に推移し、前年同四半期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は272億11百万円（前年同四半期比15.9%増）、セグメント利益は57億88百万円（同19.4%増）となりました。

## ② 表面処理用機械事業

景気の回復基調に支えられ、国内外の電子部品及び自動車部品業界における設備投資が堅調に推移し、機械の受注環境が改善したことから、売上高、セグメント利益ともに前年同四半期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は48億44百万円（前年同四半期比12.1%増）、セグメント利益は5億14百万円（前年同四半期はセグメント損失23百万円）となりました。

## ③ めっき加工事業

主力のタイの連結子会社では、タイの自動車産業に回復傾向が見られることから、受注環境は改善しましたが、期初から続いた輸出の減速や内需の停滞の影響を受けました。

インドネシアの連結子会社では、インドネシア国内経済が安定化し、自動車産業も回復基調となったことから、自動車の外装部品へのめっき加工の受注の増加によって売上高は増加しましたが、難易度の高い大物の受注が増えたため、歩留まりが悪化したことや、受注に対応するための設備の更新などによって生産コストが増加し、利益面では損失が継続しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は36億51百万円（前年同四半期比1.3%増）、セグメント損失は1億55百万円（前年同四半期はセグメント利益87百万円）となりました。

## ④ 不動産賃貸事業

オフィスビルの入居率が改善したことや、経費の削減にも努めたことから、売上高、セグメント利益ともに前年同四半期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5億41百万円（前年同四半期比1.4%増）、セグメント利益は3億10百万円（同4.5%増）となりました。

なお、上記のセグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ22億25百万円増加し、719億29百万円となりました。主な増加は、受取手形及び売掛金の増加21億23百万円、機械装置及び運搬具（純額）の増加6億56百万円、土地の増加6億31百万円、仕掛品の増加5億36百万円であり、主な減少は、繰延税金資産（流動）の減少7億54百万円、原材料及び貯蔵品の減少1億72百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億63百万円減少し、151億2百万円となりました。主な増加は、電子記録債務の増加7億72百万円、繰延税金負債（固定）の増加3億10百万円であり、主な減少は、未払法人税等の減少4億77百万円、長期借入金の減少1億35百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ31億89百万円増加し、568億26百万円となりました。主な増加は、利益剰余金の増加31億35百万円、為替換算調整勘定の増加3億54百万円であり、主な減少は、非支配株主持分の減少4億7百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の76.4%から2.6%増加し79.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年11月10日の「平成30年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	31,254,565	31,205,842
受取手形及び売掛金	11,276,010	13,399,170
有価証券	38,960	38,618
商品及び製品	2,003,559	1,960,782
仕掛品	726,098	1,262,200
原材料及び貯蔵品	1,367,844	1,195,167
繰延税金資産	976,613	222,174
その他	1,792,623	696,589
貸倒引当金	△56,210	△51,886
流動資産合計	49,380,066	49,928,659
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	20,153,872	20,525,128
減価償却累計額	△11,152,340	△11,583,139
建物及び構築物(純額)	9,001,532	8,941,988
機械装置及び運搬具	9,253,396	10,503,129
減価償却累計額	△7,000,051	△7,593,017
機械装置及び運搬具(純額)	2,253,345	2,910,112
土地	4,034,830	4,665,838
リース資産	220,420	245,458
減価償却累計額	△114,030	△121,638
リース資産(純額)	106,389	123,819
建設仮勘定	996,634	1,233,906
その他	4,463,226	4,605,477
減価償却累計額	△3,419,923	△3,580,753
その他(純額)	1,043,302	1,024,724
有形固定資産合計	17,436,034	18,900,390
無形固定資産	360,424	305,780
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,850,579	2,082,157
退職給付に係る資産	76,469	95,154
繰延税金資産	138,608	161,361
その他	532,930	528,123
貸倒引当金	△71,943	△72,469
投資その他の資産合計	2,526,645	2,794,327
固定資産合計	20,323,104	22,000,498
資産合計	69,703,170	71,929,157

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,994,497	1,973,067
電子記録債務	2,581,602	3,354,534
短期借入金	820,000	863,332
1年内返済予定の長期借入金	235,167	175,199
リース債務	51,814	53,317
未払法人税等	1,904,553	1,427,089
賞与引当金	151,154	51,974
役員賞与引当金	136,250	102,187
その他	3,667,002	2,266,949
流動負債合計	11,542,042	10,267,652
固定負債		
長期借入金	220,174	84,999
長期預り保証金	574,659	588,936
リース債務	86,265	92,980
繰延税金負債	2,634,092	2,944,103
役員退職慰労引当金	179,695	187,070
退職給付に係る負債	622,605	712,164
その他	207,121	225,046
固定負債合計	4,524,613	4,835,301
負債合計	16,066,656	15,102,954
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,336,936	1,336,936
資本剰余金	1,321,570	1,270,978
利益剰余金	50,003,674	53,139,513
自己株式	△3,324,935	△3,326,473
株主資本合計	49,337,246	52,420,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	824,565	980,503
為替換算調整勘定	3,091,036	3,445,378
退職給付に係る調整累計額	△23,958	△20,926
その他の包括利益累計額合計	3,891,642	4,404,955
非支配株主持分	407,625	293
純資産合計	53,636,514	56,826,203
負債純資産合計	69,703,170	71,929,157

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	31,696,296	35,988,213
売上原価	19,546,459	22,225,831
売上総利益	12,149,836	13,762,382
販売費及び一般管理費	6,987,388	7,339,951
営業利益	5,162,448	6,422,430
営業外収益		
受取利息	84,419	77,015
受取配当金	32,871	41,194
有価物回収益	40,016	27,939
その他	68,001	71,162
営業外収益合計	225,309	217,311
営業外費用		
支払利息	19,460	9,048
為替差損	140,008	41,257
支払手数料	9,917	10,183
その他	16,886	10,524
営業外費用合計	186,273	71,013
経常利益	5,201,484	6,568,728
特別利益		
固定資産売却益	2,244	6,611
特別利益合計	2,244	6,611
特別損失		
固定資産除売却損	7,710	26,774
特別損失合計	7,710	26,774
税金等調整前四半期純利益	5,196,018	6,548,565
法人税、住民税及び事業税	1,354,346	1,155,039
法人税等調整額	△138,009	976,986
法人税等合計	1,216,336	2,132,026
四半期純利益	3,979,682	4,416,538
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,947,756	4,396,154
非支配株主に帰属する四半期純利益	31,925	20,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,546	155,938
為替換算調整勘定	△4,375,954	363,641
退職給付に係る調整額	4,415	3,032
その他の包括利益合計	△4,298,992	522,611
四半期包括利益	△319,310	4,939,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△300,646	4,909,517
非支配株主に係る四半期包括利益	△18,664	29,633



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	表面処理用 資材事業	表面処理用 機械事業	めっき加工 事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	23,397,342	4,153,865	3,602,832	534,379	31,688,419	7,877	31,696,296	—	31,696,296
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	78,956	168,164	504	—	247,625	—	247,625	△247,625	—
計	23,476,299	4,322,029	3,603,336	534,379	31,936,044	7,877	31,943,921	△247,625	31,696,296
セグメント利益又は 損失(△)	4,848,166	△23,450	87,564	297,263	5,209,544	6,238	5,215,783	△53,334	5,162,448

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロイヤルティ収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	表面処理用 資材事業	表面処理用 機械事業	めっき加工 事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	27,116,456	4,672,132	3,650,928	541,958	35,981,476	6,737	35,988,213	—	35,988,213
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	95,042	172,537	360	—	267,940	—	267,940	△267,940	—
計	27,211,498	4,844,670	3,651,289	541,958	36,249,416	6,737	36,256,154	△267,940	35,988,213
セグメント利益又は 損失(△)	5,788,002	514,974	△155,120	310,722	6,458,578	5,650	6,464,228	△41,798	6,422,430

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロイヤルティ収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。